

ボランティア活動報告 2015

『名取昔ばなし・カラオケ教室』

日時:2015年12月16日(水)/名取昔ばなし

12月17日(木)/カラオケ教室

場所:愛島東部仮設住宅

尚綱学院大学ボランティアステーションでは、東日本大震災で被災された方々への寄り添い支援として、仮設住宅の訪問を継続的に行っています。休日に行われる市民交流サロンや学生企画のイベントの他、平日には、市民ボランティアの皆さんと協力し、映画や昔話に触れる企画やカラオケ教室を開き、日常的な交流の場を提供しています。

今回は、2015年12月に行われた名取昔ばなしを聴く会とカラオケ教室の様子をご紹介します。



方言を用いて名取市に伝わる昔話を聞かせてくださるのは、「名取昔ばなし語りの会」の皆さんです。笑いあり涙ありの昔話を通し、昔の人たちの残した様々な教訓を教えてください。昔話の他にも、座ったまま出来る体操など日常生活に取り入れやすいエクササイズの紹介も行われ、健康づくりの場としても定着しています。

これらの企画・教室の後は、恒例のお茶会が開かれます。世間話やちょっとした情報交換など、ほっと一息つく癒しのひと時です。



カラオケ教室は、いつも笑顔の阿部滋子先生が丁寧に熱く指導します。この日練習した曲は「名取川」。レコーダーで曲をワンフレーズずつ聴いた後、先生が音頭を取りながら一人ひとりにマイクを回し歌っていきます。

授業の空きコマを利用して、この日は表現文化学科の3年生が1名参加しました。久しぶりの訪問だったようで、「久しぶり！何年生になったの？他の子は元気？」と住民の皆さんと会話を楽しんでいました。